

研修会参加報告書

山口 忠孝

市町村議員研修会

◆平成 25 年 1 月 26 日(土)～1 月 27 日(日)

◆全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市）

平成 24 年度「第 2 回自治体予算を考える」

講師 総務省自治財政局公営企業課長 小幡 浩氏

講師の小幡氏は、昭和 59 年東大経済学部卒業後自治省に入省され、行政局や財務局など様々な部署に配属され、地方でも徳島市財政部長や長崎県財政課長、香川県政策部長・健康福祉部長などを歴任された実務経験豊かな 50 代前半のエリートです。

今回の研修のポイント

- 自治体予算の原則・制度、歳入・歳出予算の基本事項の確認
- 基本事項のチェックポイントや財政運営の監視方法の確認
- 制度改革の動向や今後の財政運営方策についての理解

【1 日目】 午後 1 時～午後 5 時

- 自治体予算の原則・・・予算原則及び予算制度の構造と機能について
- 歳入予算の基礎とそのチェックポイント・・・地方税・地方交付税・国庫支出金及び地方債など歳入予算の基本的な構造と考え方について。予算計上にあたっての留意点等を含めてチェックポイントとなる事項の説明。併せて制度改革の動向について解説。
- 歳出予算の基礎とそのチェックポイント・・・歳出予算の基本的な構造と考え方の解説

午後 5 時 30 分より交流会～

【2 日目】 午前 9 時から 12 時

- 財政運営の監視と今後の財政運営方策・・・財政運営への住民参加や財政分析の手法、財政運営を監視するための方法。持続可能な財政運営に向けた今後の方策について

午後 1 時～午後 2 時 30 分

- 意見交換をワールドカフェ形式で行った。

※ワールドカフェとは、「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法です。

- テーブルごとにテーマが設定してあり、希望するテーブルに着き、議論・意見交換を行う。興味のある他のテーブルに自由に移動することもできます。

研修会に参加して・・・感じたこと

今回、初めて研修所での研修に参加したので少し不安もあったのですが、交流会で各地から来ている同じ議員の方々と話しているうちに打ち解けることができ楽しかったです。また、全国から 60 名という限定された参加者は、今回の研修のテーマが示しているように私と同じような新人の方がほとんどでした。

長野県の視察で立ち寄った小川村の方、原発を唯一再稼働させた福井県大飯町の方、福島県本宮市の方などの本音や生の声を聴くことができ、大変参考になり知的な刺激を受けました。

研修のテーマである自治体予算の考え方も非常に参考になりましたが、如何せんまだまだ勉強不足で、完全に理解することは出来ませんでした。しかし、これからの議員活動に少しずつではありますが、役に立つことと思います。今後も機会を見つけて勉強していきたいと思います。